








『 ～祝 入学おめでとう！～ 青い森紅サーモン&シロザケもこんなに大きくなりました！展』  
 展示魚種リスト

別紙

展示生体名	展示生体の詳細	展示個体数
青い森紅サーモン 	サケ目 サケ科 約20cm 特徴:青森県産業技術センター内水面研究所が開発した淡水型ニジマス。鮮やかで美しい、紅色をした身をしている。青森県産のニンニクとリンゴを含み、脂肪分を抑えた専用飼料を給餌する。脂のノリが程よく抑えられ、旨味が強い。2kg 以上の大型サイズを生食用として非凍結で出荷している。通年で水揚げが可能で、鮮度の高さが抜群である。	50
シロザケ 	学名: <i>Oncorhynchus keta</i> サケ目 サケ科 約4cm 分布:北太平洋 ・一般的にサケは川で生まれ海に下る。海で数年かけて大きくなり、また産まれた川に戻り産卵する。生まれた川に戻ってくることを母川回帰と言う。「サケ」を他の種類のサケと分けるためにシロザケと呼ばれることが多い。	3000
サザナミヤッコ 	学名: <i>Chrysiptera talboti</i> スズキ目 キンチャクダイ科 約5cm 分布:太平洋中西部やインド洋などの熱帯の比較的浅いサンゴ礁や岩礁の海 ・全体に暗褐色だが体の中央に白色の太い横縞が入る。鰭(ひれ)や鰓(えら)は青い蛍光色で縁取られている。目の周りにもアイシャドーのように青色の縁取りがある。他のキンチャクダイの仲間と同じく幼魚のときは体の模様が全く異なり、黒地に白色と青色の湾曲した細い横縞が多数入る。	2
ツユベラ 	学名: <i>Coris gaimard</i> ベラ科 カムリベラ属 約5cm 分布:インド太平洋、紅海 ・幼魚はオレンジに白い模様が入る体色ですが、大きくなると緑っぽい色に変化し、尾びれの付け根に星のようなスポット模様が見えます。寝る時や逃げるときに砂に潜る習性があります。	2
イロブダイ 	学名: <i>Cetoscarus ocellatus</i> ブダイ科イロブダイ属 約10cm 分布:インドから太平洋 ・幼魚の頃は白い体にオレンジ色の頭が特徴。しかし大人になると緑色に変化する。沖縄県では「アーガサー」とよばれており、他にも地域ごとに異なる呼び方が存在します。	1

展示生体名	展示生体の詳細	展示個体数
<p data-bbox="241 124 380 156">サクラダイ</p> 	<p data-bbox="521 129 1288 161">学名: <i>Sacura margaritacea</i> スズキ目ハタ科 10~15cm</p> <p data-bbox="521 185 1447 217">分布: 主に南日本沿岸に分布し、パラオ近海などでも生息が確認されている。</p> <p data-bbox="521 240 1921 328">・雌はオレンジ色を基調とした体色で、背鰭の付け根に 1 対の黒色斑を持ちます。雄は真紅の身体に白い斑紋が点在し、非常に美しく、婚姻色の雄は、顔の色が銀色に近い桜色となります。</p>	<p data-bbox="2040 225 2063 256">1</p>
<p data-bbox="185 357 421 389">ヒレナガスズメダイ</p> 	<p data-bbox="521 357 1456 389">学名: <i>Neoglyphidodon nigroris</i> スズキ目 スズメダイ科 大きさ5cm</p> <p data-bbox="521 413 958 445">分布: 琉球列島。インド・西太平洋域。</p> <p data-bbox="521 469 1939 557">・幼魚の時は体色が黄色く、体側に 2 本の暗色縦帯があります。成長に伴いこの暗色縦帯は薄くなり、成魚は眼の下と頬部に黒色の斜帯が 2 本あります。体色は全体的に黒色だが若干変異があることも知られています。</p>	<p data-bbox="2029 437 2074 469">10</p>

7種類 約4060匹

※展示魚種および個体数は変更となる場合がございますが、予めご了承ください。